

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市総合計画審議会(第2回)		
事務局(担当課)	総合政策部行政経営室経営改革課		
開催日時	平成29年6月29日(木) 午後6時30分から午後8時40分		
開催場所	川西市保健センター2階 健康教育室		
出席者	委員	(別紙名簿のとおり) ※欠席者: 藤末委員	
	その他		
	事務局	作田行政経営室長、的場経営改革課長、大村経営改革課長補佐、田中経営改革課主査、八尾経営改革課主査、河合経営改革課主査、中村経営改革課主任	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(別紙会議次第のとおり)		
会議結果	(別紙審議経過のとおり)		

## 第1班

委員氏名	役職等	選出基準
土山 希美枝	龍谷大学政策学部教授	学識経験者
岡田 忠純	岡田不動産鑑定	市民団体等
中島 智彦	能勢電鉄株式会社総務部長	市民団体等
上畑 雄太郎	阪急バス株式会社自動車事業部業務課主任	市民団体等
荻田 雅仁	川西市商工会副会長	市民団体等
藏原 亜紀	NPO法人育ちあいサポートブーケ代表理事	市民団体等
柏 直行	教育経験者(川西市郷土館館長)	市民団体等
三善 知子	市民	公募
兼定 政司	市民	公募

## 第2班

委員氏名	役職等	選出基準
三井 ハルコ	NPO法人市民事務局かわにし 理事長	市民団体等
藤末 洋	川西市医師会 会長	市民団体等
松尾 幸恵	川西市民生児童委員協議会連合会 会長	市民団体等
野田 大東	川西市防犯協会 会長	市民団体等
木原 恵美子	川西市消費者の会 会長	市民団体等
山本 令子	川西市人権啓発サポーター会 代表	市民団体等
北 稔	川西市コミュニティ協議会連合会 理事	市民団体等
平山 圭	市民	公募

## 川西市総合計画審議会（第2回）会議次第

日時：平成29年6月29日（木）

午後6時30分～

場所：川西市保健センター2階

健康教育室

### 1 開会

### 2 議事

(1) 第5次総合計画後期基本計画素案について

(2) その他（次回の日程・内容確認など）

### 3 閉会

# 審 議 経 過

事務局

## 1 開会

ご案内しておりました時間がまいりましたので、ただ今より「第2回川西市総合計画審議会」を開会いたします。

皆さまにおかれましては、本日ご多忙にもかかわらずお集まりいただき、まことにありがとうございます。本日も活発なご議論をいただけたらと存じますので、よろしく願いいたします。

ではまず、資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

資料のほうで、直接今回の議事とは関係ないかもしれませんが、前回の時に土山副会長からご質問をいただきました資料2、資料3について、見方の説明をさせていただきます。

資料2「行財政改革前期実行計画の進捗状況」になります。横付けに前期取組みいたしました項目、縦の欄には年度ごとの実績という形での表になっています。上から「実行計画 目標効果額」としまして、計画策定時に目標効果額としてあげた数字が金額として入っております。下にいくに従い「H25実績」「H26実績」、H28、H29が見込となっております。

この表の見方ですが、「目標効果額」の下の「実績」のH25、26で説明いたします。横の欄の左から4つ目「効率的で効果的な行政サービスの提供」のところの数字で説明いたします。「目標効果額」の合計が222,236千円となっております。これが「目標効果額」の25年から29年の合計です。その下「H25年実績」として、9,613千円となっております。「進捗率」は、目標の合計額に対する割合となります。なので、222,236千円に対してのこの年の割合ということで4.3%になります。「達成率」は年度ごと、上の「目標効果額」のH25年度32,926千円に対しての達成率ということで29.2%となります。その下の欄「H26実績」は19,567千円となっておりますが、この「進捗率」については合計金額222,236千円に対して、25年度26年度の実績を合計した数字に対する割合となっております。「達成率」については、「目標効果額」の25年度26年度の合計と、実績額の25年度26年度の合計をそれぞれみた状態での割合となっております。この表の見方としては、そういう形で「進捗率」「達成率」を見ていただければと思います。

それでは、資料3です。「総合計画における人口推計と実績値について」の表になっております。1枚目の1番上が元々見込んでいた推計人口、右の表が29年度までの実績の人口になっております。その下に全人口、2枚目に年齢区分ごとの人口、それぞれ折れ線が推計、棒グラフが実績となっております。平成29年度を見ていただきますと、推計と実績で全人口の割合としてはそんなに変わらないのですが、内訳の中では「0-14歳」は実績のほうが上回っており、

「15-64歳」生産年齢人口と言われているところについては、推計より低い数字になっております。「65歳以上」については推計より多い人口となっておりますので、子どもとお年寄りも推計より多い、生産年齢人口については少し少ない、トータルすると全人口的にはあまり変わらないのですが、内訳としてこういう形で変わっているということです。資料の見方としては、以上になります。

それでは、これから議事に入らせていただきます。

## 2 議事

### ●会長あいさつ

それでは皆さま、改めましてこんばんは。ご苦労さまでございます。今日もよろしくお願いいたします。

本日の会議は、およそ2時間ということをお願いしたいと思っております。ですが、前期の総合計画を作る時に2時間と言いながら大分かかった記憶がありまして、ご迷惑をおかけするかもしれません。できるだけ効率よく、しかししっかりと充実した時間を用意したいと思っておりますし、そういう運びをしたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

### (1) 第5次総合計画後期基本計画素案について

それでは、議事に移りたいと思います。今日は先ほど資料でご紹介がりましたが、第5次総合計画後期基本計画素案について、この後2つの班に分かれて議論を進めたいと思っております。それぞれ今日ご議論いただきたい点等について、まずは事務局から進め方、それから計画素案の内容等についてご説明をお願いします。

本日の進行について、説明いたします。

今お座りいただいている2班体制ということで、議論をしていただくこととなります。新川会長におかれましては、全体のご確認をいただくということでおねがいできればと思います。

本日は第1班につきましては、主に「暮らし」の内容です。第2班につきましては、「安全安心」を議論していただきたいと思っておりますが、色々な施策に及ぶことになるかと思っておりますので、あくまでもということで想定しております。その辺りの進行につきましては、土山副会長、三井委員に進行をお任せしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それと、皆さまに議論していただいた意見については、職員で各班プロジェクトの画面に映し出していきたく思います。何分不慣れな職員ですので、本当にきれいな形でまとまるかどうか分からないのですが、議論していただく中での参考になると思っております。映し出された内容も踏まえて、できれば議論をしていただければと思っております。

それと、本日については各班で議論していただいた後に、おおよそ8時頃か

会長

事務局

らと考えておりますが、1 班の発表、2 班の発表ということで、本日ご審議いただいた内容について、各班発表いただきたいと考えております。発表者については、各班にお任せしたいと思います。

最後に、新川会長のほうで総括的なご意見をいただきたいと思っております。

それと、皆さんに議論いただく時に、これまでどういうふうにしてきたのか、或いは今の事業はどうなっているのかというところが、気になられると思います。部数が限られているのですが、各テーブルに「決算成果報告書」という分厚いものを 3 冊置かせてもらっています。これは 27 年度でその事業がどういう形で行われ、部署としてどういう形で評価しているのか、というところの参考にしていただければと思います。それともうひとつは少し薄い冊子になるのですが、「第 5 次実施計画」ということで前期総合計画を踏まえて実際にどういう事業をしたのか、分かりやすく事業を列記した内容になっております。そこも議論いただく時に参考にしていただければと思っております。

この後各班でご議論いただく前に、事務局から各班の今の市の施策の現状や課題等を、本当に簡単ではございますが説明をしたいと思っております。進行については以上です。

次に、皆さんに事前に配布しておりました「第 5 次川西市総合計画後期基本計画（素案）」こちらについては、担当部署が前期基本計画の内容、現状と課題、或いは今後後期としてはこのように進めたほうが良いという形での素案をまとめております。ただ皆さんにお断りと言いますか、あくまでも担当所属の後期基本計画に向けての大きな視点になっております。文章の部分や、こんなふうには本当に川西市は考えているのかというところは、まだ詰め切れていない現状です。あくまでも素案として、皆さんにご議論いただく上でのたたき台的なものとして、各部署が出してきた内容にご認識いただければと思います。

### ●質疑応答

今日の進め方等々について説明がありましたが、何か聞いておきたいことはございますか。まずはやってみようということで、お願いできればと思います。先ほどございましたように、まずは基本計画の素案が事務局と各ご担当の手で、とりあえずたたき台としてお届けしております。何か手がかりがないと議論しにくいと思いますのでこれを踏まえて、そして机上に置いてありますこれまでの成果、進捗等々も踏まえ、今日はそれぞれの班に職員の皆さんについていただき、簡単に素案たたき台のご説明、或いはご質問等々について対応いただけるかと思っております。こうしたご意見も参考にいただきながら、進めていただければと思います。またあわせて、本当に参考になって見やすくなるか分かりませんが、スクリーンにそれぞれのご議論を事務局の手でまとめたものを、すぐにアップロードしていただけるということで用意していただいております。前にやった時は、進行の先生方にホワイトボードに書いていただいたような記憶があって、あの時は大変でした。今回はうまくいくかどうか分かりませんが、このスクリーンを参考にいただきながら、ご議論いただければと思ってお

会長

ります。

なお、できれば1時間15分ぐらいで議論の今日のところの取りまとめをいただいて、その後各班から情報の共有をさせていただき、今日のおおよそのまとめにしたいと思っております。今日何もかも議論をしつくす必要はありません。あと少なくとも3~4回はこうした機会が持てるのではないかと考えております。しっかりと色々なご意見をだしていただければと思います。事務局で今日この辺りまで進めて欲しいというご意見があれば、色々と飛んでご議論いただいても良いと思っております。そこはある程度自由度を持ってご議論いただければと思います。その点は、土山副会長と三井委員には色々なご意見をどんどん引き出していただければと思います。

それでは、今日の進め方について特にご意見がなければ、早速ですが各班の議論に入りたいと思います。よろしいですか。

(意見なし)

それでは、よろしく願いいたします。

#### <1班>

##### ●議論

これから議論に入ります。

ご意見が多かった、まず「住む」のほうからしていこうと思います。気になるとおっしゃられていた方が多かったのは、6番の「市街地の整備を進めます」、それから「公園」「ふるさと団地」「キセラ」と続いています。まず「市街地の整備を進めます」から入り、まちづくり系の整備関係で「キセラ」「ふるさと団地」と、関心が高いいただいているところから進めたいと思います。その後「公園」や「道路や橋りょう」に進みたいと思います。よろしいでしょうか。

では6番「市街地の整備を進めます」について、お三方から見て、この6番の記述はいかがですか。

##### ◆ 6番「市街地の整備を進めます」について

私が気になったのは、現状のところで「無秩序な市街化が懸念されています。」という記載がありますが、今川西市の人口が減ってきている中で、市街化を抑制するような方向とか、あと別の項目にもありますが良好な住宅を供給してもらうために広い敷地や、昔の居住環境や生活スタイルを原点にしたまちづくりがずっと続いていて、今とあまりマッチしていない部分が出てきているのではないかと感じています。

今のお話しのポイントは、人口減少を前提にした抑制方法をすべきか、というお話ですか。それともそうではなくて。

委員	<p>もっと人が入りやすいというか、人に住んでもらいやすいというか、買いやすいというか、そういう政策にしないと人が増えたり新しい人が入ってこないのではないかと感じています。</p>
委員	<p>例えばここだと、駅を置くと無秩序な市街化が急速に進むことから、ある意味それを制約しながら進めていく必要があるという話ですが、そうではない方向のほうが、むしろもっと入ってもらうほうを検討するべきではないかと。</p>
委員	<p>土地の値段で言うと川西市内の駅前で地価が上がっているのは川西能勢口駅の周辺のみで、他の特に能勢電鉄の駅周辺、特に商業地は下落している状況なので、駅ができたからといって即座に無秩序な市街地が形成されるというような限定が、今ちょっと崩れてしまっているのではないかなと。今、能勢口駅だけに一極集中の状況を作り出している側面もあると感じています。</p>
委員	<p>むしろ能勢口中心になっているので、課題認識自体がどうなのかなという。</p>
委員	<p>能勢口に集約されるのは、コンパクトシティで良いことだと思いますが、格差が開きだしているのです。</p>
委員	<p>詳しくは言わなくて良いですが、どの辺くらいまでが上がっているとかは、キセラの周辺とかですか。</p>
委員	<p>キセラはまだ全貌が分からないので、様子見という状況です。すごく高いのもありますし、すごく安い評価をされているところもあります。はっきり言えるのは、能勢口駅周辺の商業地域とか近隣商業地域という商業ができる指定がされているところについては、高度利用ができるので上がっています。川西市の開発要綱でそれ以外は高度利用ができないような規定がかかっているのです、上がっていません。</p>
委員	<p>問題になっているのは、生産緑地指定になっていて宅地化がされていく。一方で、そういう意味では駅ができたからといって、駅ができれば人が来るという前提で逆に宅地開発をしてしまうことも心配ということもあると思います。つくったけれども入らない宅地ができてしまう。</p>
委員	<p>民間の経済的な需要と供給の関係においてそこはなされるものですから、民間の判断で良いのではないかと。事業性がないものについては、無理な開発はしないという考えなのですが。</p>
委員	<p>最近、入るのを保障しますという言い方で高齢の方のアパートを建てて、その後でというのもあったりしますが。ただ、割と発展が急だった時の課題認識</p>



	ではないかという。
委員	その名残がかなりあるような気がしています。
委員	共感しますとか、そうではないですとか、自分はこう思いますということも含めて、ご意見をいただければ。
委員	多分ここに書かれている現状というのは、ピンポイントで駅の周辺の開発で西と東のアンバランスが出てきていることと、JR川西池田駅の南側、それと一庫の駅周辺は、結局、将来的な計画を見据えてはいるのですが、宅地開発が進んでいるということで、一定のルールもとのまちづくりができていないということだと思います。なので、それらをトータルでデザインしていく形でやっていきたいと思いますということが、多分課題の結論として出てくるような書きぶりになってくるとは思いますが、それはそれで良いのかなと。南部の空港の半径の土地をつかっていこうという話も、無秩序になっているというのは公にできることで今単発でやっているの、これは多分区画整理をやっていこうとか、そんなふうに落とし込んでいく話だろうとは思っていますが。僕は、これ以外に観光地の整備というところがないので、市街地に括っているからなのかもしれないませんが、川西の観光と言うと多田神社周辺や郷土館周辺がありますが、なかなかバスが入ってくるような経路もないので、そういうことも含めた文言が何か入っていると良いという意見です。
委員	それは、ここにということですか。それとも、この項目に。
委員	この項目に観光的なことを含めた要素は必要じゃないのかなと。
委員	単に宅地化制約と見えますが、そうではなくてルールがある開発と観光としての整備の目線も入れたらどうかと。
委員	入れたら良いなということですね。その区域全体のトータルデザイン的なことをやっていくという書きぶりが見え隠れしているなとは思っているのですが、はっきりとは書いていないので。
委員	単に、宅地化抑制みたいに見えてしまうと。
委員	何か「無秩序に」みたいなことが書かれているので。
委員	どういうことを意図して、どういう方向にコントロールしようとしているのかということが、見えたほうが良いということですね。

委員	<p>見えたほうが良いのかな、という気はします。</p>
委員	<p>特に申し上げることはないのですが、新駅をつくる際は、駅だけつくっても仕方がないと考えています。私どもは民間企業なので、投資に応じた回収が見込めないと投資できません。駅プラス周辺のまちづくりも一緒に進め、そこにどれだけの人にご利用していただけるかという観点になります。なかなか、駅だけつくりますということにはならない。ここの趣旨とはずれているかもしれないですが。</p>
委員	<p>今お話しが出てきたのは3番目ですが、皆さんイメージされていることは、すごく違っているわけではないのかなと。開発するということが、むしろ開発を制約するようなコントロールのかけ方では、そもそもそういう時代ではないのではないか。一方で、ルールある宅地開発やまちづくりとしての区画整備という目線が必要だというご指摘かと思いました。観光というキーワードもありましたが、単に宅地開発を抑制するというメッセージではなく、この地域に今の社会状況の中で駅ができるということでまちづくりをどうしていくかにおいて、宅地開発を抑制するというメッセージだけでなく、ルールのある開発やそこで駅が賑わい、人が利用し、そこに色々な商業の賑わいができるような、もう少し総合的なイメージを持ったまちづくりの課題として捉えてほしいということだと思います。ありがとうございます。</p> <p>ここについてはとりあえずこういうご意見をいただいたということで、次を見てみたいと思います。次に多かったのは市街地の整備で7番「キセラ川西のまちづくりを進めます」です。</p> <p><b>◆ 7番「キセラ川西のまちづくりを進めます」について</b></p>
委員	<p>「一次エネルギー消費量」はキセラ川西のまちづくりの成果指標に何故それが関わっているのか、お話しを伺って良いですか。</p>
事務局	<p>キセラ川西は、低炭素型のまちづくりを進めており、環境に配慮したエコなまちづくりを進めています。例えば、建物を建てる時には自然通風・換気を上手く使う等、色々なエコの基準を設けています。一次エネルギーというのは、化石燃料とかです。</p>
委員	<p>石油、石炭、ガス等のいわゆるエコではないものですね。</p>
事務局	<p>そうです、そういうものを削減していこうという取り組みです。</p>
委員	<p>実感としてですが、とても理念が立派すぎて市民は全然ついて行けていないと思います。今だと中央公民館だったら車が無料で置いて会議ができる等、市民としては助かっている施設だと思います。できるだけバス等を使おうと市民</p>

	<p>に教育していく流れになっていると思いますが、市民レベルでは全然ついていけないので、その辺りが「課題」に「広く市民に情報提供していく必要があります。」とありますが、もう少しおりてきてもらわないと分からないのではないかと私自身は思っています。あと、本当の地元の方が公園の近くで色々な活動に参加したいと思えるような感じで、今、市民団体が色々な活動をしようという気持ちに乗っているところがあると思いますが、本当の近所の方がどれだけ理解しているのか。外から来ている人ばかりが楽しんでいるとならないように、地元の方が入って来られるような感じで進むと良いなと思っています。それがどういうところに入ってくれば良いかは分かりませんが。</p>
委員	<p>私はキセラ川西をちゃんと知らなくて、色々想像しながらなのですが。成果指標も確かに市民におりてきていないかもしれませんが。あらゆる項目で、市民の役割は誰がやれというのかすごく気になっているのですが。</p>
委員	<p>イメージ的な話しになってしまいますが、低炭素のまちづくりは理念としては非常に良いと思いますが、先ほどおっしゃったように、なかなか一般消費者の理解がまだ進んでいないというのは感じます。逆に、キセラ川西の一部に工業や産業ができる場所があり、そこが川西市の最大商業地に一番近い工業地として非常に注目されている面があるのではないかと感じています。その辺りがクローズアップされていないことが、残念だと思っています。ただ、こういうのは開発が進んでまちができてくると見方が変わってくると思うので、時間がかかるものかなと思っています。</p>
委員	<p>「公共空間の新しい造り方としてシビックプライドの醸成をめざして、整備した施設を市民が育て、成長させる仕組みづくりを構築しています。」とありますが、やや上滑っている感じがします。</p>
委員	<p>これはキセラ川西で、皆さん公園に特化したお話しになっていると思います。キセラ川西は 22 ヘクタールの区画整備全体のことを述べています。ここ数年、特にせせらぎの遊歩道とせせらぎ公園に特化して、市民が新しくできるまちをどう進めていこうというワークショップを、市民・市・民間団体でも進めてきました。自分が住んでいるところでもなく、全くの更地に新しいものができてそれをどう受け止めていくのか、それが何故我々は楽しいのかというところで、腑に落ちた言葉が「シビックプライド」でした。それが公園のワークショップでも最終的に出てきたキーワードで、まちは自分自身そのものなんだ、I am 川西というキーワードで、ここにも書かれていると思います。決してこれは上滑っていないし、逆にこれからもその公園で色々な企画がされていくので、何故こういうことをしているのかを皆さんが気付いていくことで、多分今上にあると言われているものがおりてくる時がくると思っています。ですので、この指標の中に「シビックプライドへの理解」とか「パブリックライフへの理解」の</p>

	<p>目標値が定められていないことが、寂しいぐらいです。決して上滑っていません。川西はそういう思いで動いている人間がたくさんいます。</p>
委員	<p>それは失礼しました。一方で、おりてきてほしいというのと、上滑っていないというのを、どういうふうに理解してここに反映していけば良いのでしょうか。</p>
委員	<p>そういう思いで活動している方への理解を示す、その人を信頼する、尊敬する、愛で育むという活動を繰り返していけば、相手を理解しようということになっていくと思います。</p>
委員	<p>それは、活動している人を活動していない人が理解しなくてはいけないということですか。</p>
委員	<p>それぞれができることは限られているので、その方のできることで、思われるところで関わっていくことで成立していくと思います。そういうことができる場ということで、川西市の中では特段ここは深い意味のあるページだと思います。</p>
委員	<p>他に皆さんいかがですか。</p>
委員	<p>補足ではないですが、僕なんかは北のほうから見ていると、周りの住民は利便性だけを求めています。先ほどの駐車場の件もそうですが。活用、活用というところとだんだんごちゃ混ぜになって、1つの理念が崩れていく。じゃあ、誰かがじゃなくて自分からどんどん意見を参加させる、シビックプライドという言葉としては本当にそれで、皆で参加していこうという意識は大事なので、その注釈というか説明がもっとほしいと思いました。</p>
委員	<p>「シビックプライドとは」「パブリックライフとは」がないですね。</p>
委員	<p>片仮名の話もありますが、「シビックプライド」もそうですが、郷土愛、市民としての参画のお話しのところで大事なキーワードですが、その辺りが知られていないというか、多分腑に落ちていない人もいっぱいいると思います。</p>
委員	<p>ソフトというか思いの部分と、ハードの部分を明確に分けて考えたほうが良いのかもしれないという気はします。</p>
委員	<p>おっしゃる通りですね。</p>
委員	<p>考え方やその考え方がどう活かされていくのかについて、多くの市民の方がそれを体感できるような。やはり、ワークショップに参加される方はすごく強</p>

	<p>い思いを持たれていて、一方で関わっていない方やその時に関われなかった方、それは意識の問題なのか、たまたま時間の問題なのかは分かりませんが、その部分はあるのではないかと思います。キセラ川西が大事にしているものとか、それをどう体感していくのか、もう少しここにも丁寧に書いてもらう必要があるのかなと思います。「シビックプライド」に対する認知みたいなものがあるかとか、もう少しそういう意味では成果指標も、キセラ川西のまちづくり自体が理解されているかどうかを入れてもらいたいというところでしょうか。</p>
委員	<p>では次、10番「ふるさと団地」について。</p>
	<p><b>◆ 10番「ふるさと団地の再生を推進します」について</b></p> <p>ひとつは評価指標のところ、今実際に空き家がどれぐらいあって、どれぐらいが放置されていてどれぐらいが生きてきているか、私は不勉強で全然分からないので、そういうのが指標にあると分かりやすいと思いました。</p> <p>あと施策展開の中で、私も丸山台という北のほうに住んでいて、そこから通勤通学が不便なので小花に引っ越して、丸山台は空き家になっています。不便だったんです。すごく良い環境で大好きなのでよく帰るのですが。結局今はNPOの代表をしているので、登記は違うのですが事務的なことと、あと親子が集まる場所として活用しています。そういう面では環境も良いし、NPOに無償で提供しているということで固定資産税の減免が受けられます。あまり知られていないのかなと。うちも自分がやっていて知らなくて、それを教えていただければ、我が家のように貸すのはわずらわしいけど1階部分だけなら空けられるという方も結構います。その上で固定資産税の減免があれば、本当にオープンにしてくれる家主さんはいると思います。その時に32の施策に繋がるのですが、市としては子育て支援の拠点を中学校区単位で整備するとずっと前から言っていますが、整備されていません。そういうものを民間活力でやっていく時に、空き家の活用と連動してできれば良いなど。例えば北陵の団地の中に住んでいて子どもが小さい時に、なかなか子育て支援の施設を私は車が運転できなくて利用できませんでした。そういうものが地区の中に小さくても良いからたくさんあるというのは、すごく若者の世代を呼び込むのに良いと感じています。施策展開では全然そこに触れていないのですが、そのような活用の仕方を入れていただければと思います。</p>
委員	<p>小花に引っ越されて、子育て支援がかなり充実しているようにみえますか。</p>
委員	<p>イベントとかそういうものは、結局公共施設がこちらに集まっているので。公民館はその登録グループしか使えないので、誰でも使えるところにしようと思うとやっぱり能勢口に偏ります。実際に北陵に住んでいた時は、そういうことの恩恵を受けていないし、能勢口に住んでいる人達とあっちに住んでいる人達は全然違うと思っています。あちらでなるべく中心でやりたいと思うので</p>

	<p>すが、自分の家の空き家は駐車場の問題や近隣の方のご理解をいただく必要があるので、大きくオープンにはできないので、例えば市の施策の中でそういうことを進めますというバックアップがあって、腰を据えてできるのであれば、いくらでもソフト面や運営はできると思っています。</p>
委員	<p>空き家の話で、大和地区だけで言うと 4,000 世帯のうちの 200~300 ぐらいが空き家で、だんだん新しい方が計算よりも少し増えてきているような話をしだして、自治会に入るように促して組長が手紙を渡してやっと嫌々入ってくれた 5 年前くらいから関わっているのですが、今は違って手紙を渡さなくても自治会に入りますと言って来ます。だから、今この機運は逃してはいけないような気はしています。まちづくり委員会で子ども会や P T A の方々とお話をさせていただいて、公園のつくり方等色々な説明をしています。人が増えていくというのは、イベント等に関わっていくと自治会等にどんどん関わってくださるということ、最近になって知ることができました。あまりマイナスにばかり思わなくて良いのかなと今は思っています。</p>
委員	<p>施策の総括的なものを見ると、流入人口は平成 26 年度は少し上がって目標値くらいにはなっています。一方で生産人口比率は下がっている、高齢化は進んでいる状態です。住むということではない使い方、住むことだけではない空きスペースの使い方みたいところをもう少し見たり、持ち続けられるような減免措置等がどう周知されているかについては触れられていません。基本的に新しい人、若い人に住んでもらいましょうという施策になっています。それだけではないのではないか、ということでしょうか。もし他に皆さんからこれだけは言っておきたいということがあれば。</p>
委員	<p>いわゆるオールドニュータウンの問題で誤解されているところがあるのですが、戸建て住宅の空き家率はすごく低いんです。先ほど 4,000 世帯のうち 200 世帯とおっしゃっていましたが 5% です。政府が発表しているのは 13.何%ですが、公営住宅や共同住宅の空き家がすごく多いので、実は数字ほど空き家がないのがオールドニュータウンの状況です。あともうひとつ、4 割が中古住宅を購入されているので、結構流通しているということもあります。それを前提に考えないといけないのではないかと思います。それともうひとつ言いますと、優良な住宅ストックの流通の「優良」は耐震基準のことを言っていると思いますが、昭和 55 年以前の住宅は古い耐震基準で優良ではないとなっているので、ずっと住み続けていくために優良かそうでないかとふるいにかけられてしまうと、結構厳しいです。あと、色々な活用ができない規制が今かかっている、優良な住宅環境をつくるためにかけた規制が、色々なことに使えないような状況になってしまっている、その辺りもどの方向性でいくのか宙に浮いているような感じになっています。</p>

委員	<p>あと、考えるにはベースのデータが足りない部分があって、空き家がだいたい200～300世帯というお話しがありました。そういうところとか40年代から始まった団地開発なので耐震の面とか色々あるだろうと思います。あと、ふるさと団地ではありませんが他のところだと、元々の販売区画自体がこの時代のもは古くて、なかなか2世帯住宅にもできないし、だんだん歯抜けのような状態になっていくところがあったりもします。その辺りについては分かりませんが、4割が中古で流通しているというのは、わりと条件が良い団地だという認識で良いのでしょうか。</p>
委員	<p>そうですね。環境が良いので住まわれている方が多いというアンケートがありました。ただ、川西の場合敷地の広さでいうと逆に、広すぎるということがあります。今売れているのは30坪の敷地なので。</p>
委員	<p>そういう意味では1階は空けられるとかいうことですね。</p>
委員	<p>そうなんです。捨てがたい環境で、売ってしまいたくはない。私は今マンションに住んでいますが、北から出てきている人がほとんどだと聞いていて、この人達の元の家はどうなっているのかなと思うこともあります。</p>
委員	<p>出先はここだけど、元はここみたいな。</p>
委員	<p>多分子どもを育てるには良い環境だし。ただ、子育ての支援を受けるには不便です。市の成り立ちでしょうか。そっちに小さい拠点をつくりたい。そして、若い人達は環境を求めてあそこに住んでいるけど、サービスが受けられないという点が解消されるのではないかと、魅力がプラスされるかなと。</p>
委員	<p>今選んで大和に行く方は、やっぱり環境が良くて値段も手ごろになってきているしという感じで行かれるので、わりと意識が高い人が住んでいるような気がします。</p>
委員	<p>そういう地域の個性みたいなところについては、あまり言及されていない部分があるので、そういう特徴を活かすというのもあるのかなと。個人的にはシェアハウスはだめなのかなと思ったり。そんな簡単に解決する話ではないですが、多様な住まい方とか、良いところを活かしてニーズに応えるみたいところで。そういう部分について、現状の認識や課題に反映していただいても良いと思います。</p> <p>それでは、9番「公営住宅を適正・効率的に管理します」にいき、それから1番「良好な都市環境」2番「道路や橋りょう」3番「交通安全」8番「総合的な交通環境」という交通関係にいきたいと思います。</p> <p>9番「公営住宅を適正・効率的に管理します」について、いかがですか。</p>

	<p><b>◆ 9 番「公営住宅を適正・効率的に管理します」について</b></p>
委員	<p>先ほども申しましたが、空き家率とか高齢化も公営住宅はすごく高いのですが、課題を見ますときちんと置かれているのではないかと思います。</p>
委員	<p>現状と課題については、適正にされているのではないかとということですね。川西市の公営住宅は、自前でつくられているのですか。一時期借り上げもあった時期がありませんでしたか。</p>
事務局	<p>借り上げ公営もごございます。</p>
委員	<p>維持する戸数自体は、何か方向性はあるのですか。施設の改築等の方針も含めてご検討される部分かと思うのですが。</p>
事務局	<p>建物がかなり古くなっているものもありますので、現時点では一部改修・建て替えを考えているところがございます。そこは公ではなく、何らかの形で民の力を借りながら建て替えて集約の方向で考えています。</p>
委員	<p>集約を進めることと、借り上げは縮小する方向ですか。</p>
事務局	<p>借り上げはそちらの方向で動いております。</p>
委員	<p>その辺りについては、今ここでは特に「公営住宅基本計画」に言及されているくらいですが、そういう公営住宅の方向性自体については、ここに書く必要はないのですか。</p>
事務局	<p>現在「公営住宅基本計画」見直しの作業をしている最中で、維持管理や建替等のあり方を検討している段階です。</p>
委員	<p>それであれば、少しその状況も書いておいたほうが良いかと。総計の項目には出てきているが、具体的には関連計画でコントロールするというお話しだと思いますので、今の方向性も含めて書いていただいたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>住んでいる方の高齢化については、この項目ではないところでされるのですか。例えば、コミュニティとしての繋がりづくりみたいところに、取り組んでいることを書くのか。実はうちの大学の学生達がいくつか関わっている団地があるのですが。そういう施策は、高齢者対策でされるのですか。</p>
事務局	<p>「公営住宅基本計画」の中では、集約や廃止をどのようにしていくか、あとは今後の維持管理をどのようにしていくかといった、どちらかと言うとハード</p>



	面に重きを置いています。コミュニティについては、現状では触れられていない計画になっています。
委員	難しい課題もあると思いますが、本来はハードとソフトが少しでも一体的にされるのが良いと思います。
委員	今お話しされていた学生の方というのは、高齢化だから独居のサポートとかですか。
委員	うちの学部で、地域課題に自分達なりに色々と考えて取り組む「龍政GAP」という活動があります。その中で、学生達が団地の高齢化やそこでの買い物支援に取り組んでいるグループがあります。そういう活動をして、たまに来てくれる物好きな人で終わってしまうところもあるので、そうではなくてちゃんと根を張った活動になっていけるかどうかは課題です。学生が関わるとお互いに過剰期待があって、地域の人は学生が入ってくるとすごく良いことがあると思うし、学校は地域で何かして学んでくれるだろうと思ってしまふし。でも、本当に地域に関わっておられる方がなかなか解決できない問題を、すぐに学生が解決できるわけではないので、何か呼び水になることはあるので、過剰期待がお互いに膨らまないようにしつつ、ウィンウィンで何かできるようなというのが、教員としては一番気を使いながらしています。
委員	高齢者の方やコミュニティは、全体の政策の中でどの辺りに入っているのですか。
事務局	例えば 103 ページのところですか。
委員	あと、「安らぐ」の 22 番 23 番 24 番辺りも、関わらないわけではないと思います。 では、公営住宅について他に特にご意見がなければ、元に戻って 4 番から行って、それから 1 番 2 番 3 番と 8 番に進めたいと思います。4 番いかがでしょうか。
委員	<b>◆ 4 番「公園を利用しやすくします」について</b> 子ども達が利用したほうがという観点で話が盛り上がっていたので、ただし、遊具に対するお金が簡単におりるわけではなく、今いるメンバーでどうしようかと。今は砂場の掃除をかなりまめにしてみようというところで、どのぐらいの人数が参加するかというやり方をしています。色々な方が関わっていくにはどうすれば良いか、それを今考えながら。
委員	指標の最新値「13.1%」が自分の予想より低いので、こんなものなんだなと

	<p>いうところで私自身は驚いたのですが。どうでしょうか。</p>
委員	<p>これは目標値も 21%です。経年変化で見ると、だいたい 16、14.7、10.9、14.3、13.1 という、わりとおっしゃる通りです。どうなのでしょう。</p>
委員	<p>公園のあり方が問われているんだと思います。色々なタイプの公園がありますが、開発の中で決まっているからそれだけの面積を提供したという公園がほとんどだと思います。防災公園として設けられているのは、なかなか。よく分からないのですが。先ほどの「パブリックライフ」に戻りますが、ご自宅のリビングばかりが皆さんの居場所ではなく、ご自宅のお庭ばかりが安らぐ場所ではなく、皆が集まってふれあえる場所という意味合いの「パブリックライフ」という場所になっていけば、もう少し指標も上がっていくのではないかと。根本から使い方を考える必要があるということでしょうし、あまりにも公園には規制が多すぎて、子ども達が思いきり遊べない。利用方法を根本的に変えていかないといけないと思います。</p>
委員	<p>球技禁止みたいなのところもあります。「新たな公園の活用策が求められています。」というのは、そういうところだと思いますが、じゃあどうやって出しているのか、というところの難しさでしょうね。ただ、実感として、満足している市民の割合がそんなに低いのか、そんなことないのではないかという感じがしますか。</p>
委員	<p>子どもは小さい公園でも遊ぶことは遊べます。どんな場所でも遊ぶので、そんなに低いのかなと。</p>
委員	<p>子育てをしている時は、公園が生活の中のすごく大事な場所で、すごくなくても良いので子どもが安全に遊べて親が入れ場所があれば、多分「満足」と付けているのですが、子どもが大きくなれば公園に全然縁がない。これぐらいの歳になって公園に満足感を覚えるとしたら、瑞々しい感じというか、何とか御苑という感じの憩いの公園が欲しくなるというか。</p>
委員	<p>東京から転居してきた人は、「川西は公園がないけど皆どこで遊ばせているの？」と言っていて、公園は近所にたくさんあると私は思いましたが、小さいのは東京に住んでいた人からすると公園じゃなく空き地だと思っているみたいです。川西育ちの子はあれが公園だと思っているので、そこで遊ぶのですが。大人からすると、やっぱりそこでは憩えない。</p>
委員	<p>そうですね。あまり瑞々しくない。</p>
委員	<p>どこの団地でも、メインになるような公園がありますよね。</p>

委員	北部にもあります。南部はちょっとないです。
委員	いずれにしても、小さい公園はそんなにたくさん要るのですか。集約していくことはできないのかなど。
委員	子どもの遊び場としては、家の近くにベビーカーで親子で行けるところが。大きくなくて良いから、しょうもなくて良いから欲しいです。
委員	そういう意味では、子育て世代が少なくなってきたり、高齢世代が多くなってきたりすると、多様化が必要になると思います。じゃあこの「新たな公園の活用策が求められています。」というところを、どのように具体的に施策にしていくのか。公園の役割分担みたいなことがあり得るのか。埃っぽくない公園が好きな人と、埃で砂でどンドン遊びたい人と、利用形態に基づいたり、周辺に住んでいる人をベースにしたり、公園がどのように使われて、どのようにあると良いのかについて、もう少し本格的に施策として考えることに取り組んでいただいても良いのかもしれないですね。
委員	あと、子どもの声を実際に聞いて活かして欲しいと思う部分があります。すべり台が危なくなつたからある日突然撤去されてしまい、大ショックな子どもが結構いました。管理上は仕方ないのかもしれませんが、そこを使っていた子ども達の実際の声は聞いてもらえないので。そんなことまで聞けないと言われるかもしれませんが、子ども達にとってはとても大事なことなので、そういうところの声が入ると良いと思います。
委員	その逆で、高齢化している場所では子どもさん達が他に出て行っていて、帰って来る時の駐車場に公園がなってくればという要望が出ています。公園の利用の仕方が、子どもの目線ではない。でもそれはずっとそうではなくて、また新しい方が入ってくるのでしょうか。今はそういう話も出ています。
委員	難しいですね。管理の問題も含めてですが、公園としての役割をどういうユーザーにどのように展開して、なおかつ小さいポケット公園が多いところはどうするのか。公園のあり方について、大きな目線で議論できるような施策が必要な時期ではないか、ということは言えそうですね。そのようなおまとめでよろしいでしょうか。
	では1番「良好な都市環境～」から交通のところに行きたいと思います。また、全体像の話なので、皆さんも今見ていただいて意見を出していただければと思います。いかがでしょうか。
	◆ 1番「良好な都市環境を整備します」について

委員	<p>すごく具体的な話になってしまうのですが、下から 2 番目の開発行為のところですが、今の開発指導要綱によると人口の集中を抑制するということが書かれていて、もうそういう時代ではないのではないかと思います。集中しようとしてもなかなかできないご時世ですから、その視点はもう少し変わっても良いのではないかと。当然、無秩序な市街化は落ち着いたほうが良いのですが、今は人口集中を防ごうというところがありますので、それは変えて欲しいと思います。</p>
委員	<p>私はややびっくりしたのですが。 他に皆さんありますか。</p> <p>日本の中で川西市の開発指導要綱は、歴史の 1 ページです。指導要綱という名前を付けたのは、川西市が初なのです。実はその 1 年前に団地開発要綱を川崎市が作っているのですが、宅地開発要綱は初めてです。都市法がいい加減でインチキだった時に、開発を良い意味で抑制する役割を果たしていて、色々な自治体その後それに倣ったんです。条例になっていないのは、少しびっくりですが。条例にしないといけないのではないですか。当時とは時代が変わって、ルールとしては行政指導よりもきちんとした条例でいうところ、「要綱」というのは議会を通さず自治体の内規で決めています。当時はできなかったのですが、今はできます。本当は条例にするのが順当かと思うのですが。そういうお話しはないのですか。</p>
事務局	<p>開発指導要綱の中にも色々なルールがあります。例えば最低敷地面積、敷地面積が何平米以上でないと細分化できないという規定もあります。その辺りは、かなり個人の権限を縛るようなものになりますので、行政指導に留めていると思われま。</p>
委員	<p>住民の方々が合意された上で、地区計画で最低敷地面積をつくることもあります。</p>
委員	<p>それはそれで良いのですが。 すみません、ここはそこに踏み込む議論ではないので。</p>
委員	<p>この部分は条例にできないというのはあると思いますが、この部分は条例にできるというのは、今は結構あると思いますので。その部分が要綱のままになっているというのは。要するに、行政の内部判断で変えられるルールになっているのは、ちょっとどうかと思います。</p> <p>同時に、開発指導要綱がここでも書いてあるように「無秩序な市街化を防ぐ」となっていますが、今のご指摘では人口減少や人口流出が想定される中で、どういう姿が良好な都市環境を形成すると考えておられるのかについては、どうでしょうか。何か考え方が変わっているとか、そういう部分はあるのでしょうか。</p>

	<p>か。それとも、昔人口流入が激しかった時の規制的な指導要綱をキープしておられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>指導要綱の開発の部分と、人口流入の部分とは正直そこまで連携を取れていないような現状です。そこを踏まえて、何らかの形で手を打たなければならないのが、今後の課題になっているという感じはします。</p>
委員	<p>現状と課題の1点目は、「社会経済構造の急激な変化により、都市経営コストの効率化や持続可能な都市構造への転換が求められています。」とあり、それを踏まえて「成長・拡大を前提として従来のまちづくりから、既存の都市基盤を活かした暮らしやすいまちづくりを目指していく必要があります。」と書かれているので、発想は開発指導要綱とどう関わっているのかいないのか、市として見解を出していただいたほうが良いのではないかと思います。人口減少が見えている中で、開発規制をどういう方針でしていくか。</p>
委員	<p><b>&lt;2 班&gt;</b>          こんにちは。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>ご説明だけ先にさせていただきます。</p> <p>第2班ということで、「安全安心」の視点で議論いただきます。資料1の2ページ目に一覧になっております。この左の視点の「安全安心」です。政策としては3「安らぐ」4「備える」5「守る」、施策番号が17番から30番となっております。本日、医師会の藤末委員が欠席とのことで、「安らぐ」の部分が高齢者や健康についてのお話しになりますので、藤末委員も交えてお話しいただいたほうが、活発な議論になると思います。健康施策や病院関係が「安らぐ」に含まれておりますので、次回に一緒に議論いただいたほうが、活発な意見交換ができると思いますので、本日は「備える」「守る」についてお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、よろしくお願いします。</p> <p>素案の59ページの中身の見方の説明だけいたします。視点「安全安心」の政策「備える」施策27番「生活安全の向上を図ります」、統括部等が「市民生活部」となっております。この素案については、最初に「現状と課題」があります。「現状」は、前期計画をやってきた中での現状の取組みです。例えば、地域や団体と連携を図って防犯活動などにより犯罪発生件数は減少傾向にある、ということが書かれています。ただ、その中でも課題はあります。右側に「課題」として、さらに防犯意識の醸成を図っていく必要がある、もっと連携を取ってやっていく必要があるだろうとあります。では、その課題を解決するためにどうしていくかということが、下の「主な施策展開」です。もっとこうすれば課題を解決できるのではないかと、というところを書いています。「地域安全活</p>

	<p>動の推進を目的に、川西市生活安全推進連絡協議会を通じて関係団体と情報交換を行うとともに、川西防犯協会を支援します。」といった、大まかなお話しにはなりますが、こういうところを展開していく中で右側のページにある「施策評価指標」を設定しております。例えば、「犯罪発生件数」の方向性は下げていきましようという指標と最新値が出ています。この指標については、こういうものを付け加えても良いのではないかというご議論をいただくことになると思います。その下の「役割」は、これをしていくためには市民、市民公益活動団体、事業者はどういうことをすれば良いのかを書いています。施策の現状と課題がある中で、もっとこういう課題があるのではないか、施策展開としてはもっとこういうことをすれば良いのではないか、指標はこういう目標を持ってやれば良いのではないか、役割としてはもっとこんな役割があるのではないか、というところでご議論をいただければと思います。大きな話になりますが、またご質問等があればお願いいたします。</p>
委員	<p>今日の進め方として、25番から30番までを1項目ずつ皆様のご意見をいただきながら進めてみてはどうかと思っています。時間がもし余れば、次回の「つながり」の8と9の施策番号41番から44番に少し取り掛かっても良いかと思っています。1項目ずつ進めるということで、いかがでしょうか。その中で、先ほど新川会長もおっしゃっていたように、ちょっと飛ぶけどこっちというのは良いと思います。大変申し訳ないのですが、私は交通整理をするのは得意なのですが、発表はどなたかお願いします。</p>
委員	<p>●議論</p> <p>そういうことでよろしいですか。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは早速ですが、51ページからいきましょうか。地域防災はまさに皆さん個別にも関わっていることが多いところかもしれませんが、「現状と課題」がそれぞれ5項目あります。どんなことでも、どなたからでも口火を切っていただければ。</p>
委員	<p>◆ 25番「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」について</p> <p>地域の災害時については皆さん考えておられて、特に助けて欲しいとか助けましようということで、それぞれ役所から高齢者に手紙が送られていて、助けて欲しい人は返送をする、それに対して地域で私が助けますというのがあります。それでマッチングをして、何かの時に助ける人がその家に行って確認をするという形を取っているところも多いはずです。</p>
委員	<p>それは川西市内ですか。</p>
委員	<p>どこでもあるのですか。</p>

委員	民生委員主体で動いていますので。
委員	そういうところもありますね。うちは自治会と民生委員が合体しています。
委員	うちの場合だと自治会です。例えば自治会がアンケートを高齢者にとって、市からあって、民生委員さんへ資料が。個人の申請が出るんですよね。
委員	申請しないと。個人で要らないという方もいらっしゃるの。だから申請制度は取っています。コミュニティは福祉委員会が主となって。自治会は自治会員と非自治会員に分かれてしまいますから、漏れがあることになって、そこは民生が校区の全ての住民対象ですから。でも、あくまで申請です。
委員	自己申請ですか。
委員	だから、助けてくださいと手を挙げないとだめなんです。そしたら役所から、うちの場合は民生委員と自治会に登録番号が書かれた一覧表が来ます。それを今度誰に助けてもらうかをしないといけないので。
委員	第2第3の人は決まっているのですか。
委員	うちの場合は2人です。
委員	災害の時は、誰がどこでどんな目にあうのか分からないから、この人のためにこの人と準備されていても。
委員	それはそうです。まずは自分の身を守る。見に行く余裕があれば見に行く。
委員	ただ、個人情報があるから。私はコミュニティの会長をしておりますが、どこの方がどうだということは一切分かりません。
委員	もし民生委員が最初にやられたら、誰も分かりませんね。それって怖いことです。
委員	私のところは民生だけではありません。一般の方が助けますと手を挙げてくれたらその方も全部含めて、一人の人を二人がみるというふうにしています。必ず月に1回ぐらいは訪問して、有事がなくても声掛けをしています。これは地域によってやり方が違いますが。
委員	だから、地域によって全部やり方が違いますから。私が所属している自治会

	<p>は、支援の会を作っています。メンバー140 件の自治会ですが、110 名が登録しています。昼間勤めているけど夜は大丈夫という。それで年に 2 回訓練しています。</p>
委員	<p>これは川西全体の施策についての話ですが、今は地域によって機能しているところと、ちょっと心配なところがあるという状況ですね。</p>
委員	<p>でも、一応これは市の福祉政策課が担当してやっています。</p>
委員	<p>だから個人的に言うと、一番初めに出てきた折は危機管理室がやっていました。それが個人情報の問題があるといって福祉へ降りた。防犯は 2 階の相談課へおりた。危機管理は今水害だけしかやっていない。だから、縦割り行政になってしまっているんです。完全な欠点ですね。</p>
委員	<p>それが今の状況の大きな課題と言えそうですね。ここの項目に関して。</p>
委員	<p>初めは危機管理室が全部統括していました。あれは良かったです。今は各部署へ分散してしまいました。人の問題もあったと思いますが。</p>
委員	<p>個人情報、変な方向性に一人歩きしているように感じますね。それが漏えいするということは、平成になってからどうしても嫌だと思われる方が多々いらっしゃいます。どうぞ構わないという人だけではないことは、事実です。</p>
委員	<p>制度上、縦割りの部分で各課で同じように取り扱われない、法律的な壁もあるということですかね。</p>
委員	<p>やっぱりシークレット部分は、多々あるように思います。</p>
委員	<p>民生委員が苦勞していると思います。例えばうちでも、4,000 平米以上のマンションが 14 あります。担当している民生委員は大変です。自治会加入率が 42%ぐらいで低いです。マンションがものすごくあるから。</p>
委員	<p>集合住宅がね。</p>
委員	<p>地域防災だけでも、自治会加入率との絡みも出てくるということですね。</p>
委員	<p>それはもう完全に。今、福祉や社協は自治会頼みで動いています。だから、我々コミュニティでも非常に難しいです。</p>
委員	<p>今の課題は、パソコンで打込んでくださっているので、25 番に関しては具体</p>



	的に皆さんが地域で動いていて感じている課題ということで、出しておきましようか。
委員	全体的に見たら、非常に苦勞されていると思います。防犯で。
委員	防犯協会の場合は、市、コミュニティ、自治会、あらゆる関係団体と連携しながら、例えば高齢者の見守り活動、子どもも含めてですがそれをやる。それと防犯活動用自動車、いわゆる青パトが川西警察署管内で 68 台あります。県下でも一番多いです。その青パトを有効に活用して、各防犯協会が 15 支部あり 360 名の方がくまなく回っておられます。今おっしゃっていた高齢化の関係で、見守り活動もすごく重要になっています。それで高齢者の見守り活動もさせてもらっています。
委員	防犯も防災も根っこは同じですね。
委員	そういう難しさは、ものすごくあると思います。だんだん高齢者が増えてくる。
委員	でも川西市の場合は、ものすごく積極的です。コミュニティも全部できていますし。防犯カメラ、高齢者の見守り活動、福祉関係、他市よりも素晴らしいと思います。これは皆さん方がこういう会合をされている結果ではないかと思えます。自主防犯もありますが、防災もそうです。他市に比べて私はものすごく進んでいるんじゃないかと思えます。
委員	ほとんど民生が関わりますからね。何かにつけて。川西市で 247 名民生がおります。
委員	民生委員はものすごく活躍されています。やりにくい仕事ですが。
委員	そうすると右側のページの「役割」として、市民、市民公益活動団体、事業者とありますが、それぞれがかなり川西市では動いていると。
委員	そうですね。
委員	市民と事業者のところに書いてある「消防団」は、自営業なり農家さんなり時間を自由に使える方がどんどん減っているのので、事業者に活動の時間を与えてもらえるような機会をもらえれば。
委員	長時間労働の是正ね。

委員	消防団は昔農家の若い人達が畑にいるからそのまま火消しに動いていたという大元があります。今の農家さんは昼間いないので、いざ火が出たとなると近所の人達がバタバタしないといけない。商店や工場の人達にすぐに動いてもらえるように、もっと業者に時間を与えてもらえるような制度をつくってもらえないかと思います。
委員	もう少し全事業者の中でも活動にコミットできるような体制をつくっていくということですね。
委員	地域の防災力の向上ということで、各自治会、コミュニティ、学校、企業で各種の防災訓練がよく行われています。川西市は結構盛んです。それともうひとつ、市内の自主防災組織に対する民間の防災士資格者による防災伝達教養があります。これを地域の方も積極的に活用されたら良いのではないかと思います。
委員	教養というのは、“教養を高める”の教養ですか。
委員	そうです。結局、何のために訓練をするのかということになると思うんです。結構色々な方が資格を持っていらっしゃると思いますので、各自治会、コミュニティ、企業もよく活動されていますので、これの活用を今後市として考えていかれたら良いと思います。
委員	<b>◆ 26 番「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」について</b>
委員	ちょうど良い感じで 55 ページの 26 番「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」とも関連してきていると思います。他にもいかがですか。
委員	研修を受けるわけですか。
委員	はい。教養なんです、結局。
委員	そういう発信は、どなたがするのですか。各校区で。
委員	それは市に聞けば分かります。
委員	教養ということは、皆さん一緒にどうですかという啓発を情報として発信するのではなく、教養として自分自身が高めていくだけですか。
委員	そうです。
委員	自治会等でまとめて何人か集まれば、市のほうから来てもらう方法もありま

	す。
委員	個人的に教養を高めるだけで、誰かに発信するわけではないのですね。
委員	自分の知識として持つということ。
委員	防災訓練の時にそれも一緒に取り入れてされたら、一層防災訓練も効果があるんじゃないかと。
委員	もったいないことですね。その人の教養が高められたとしても、それを共有するチャンスを増やせば、その教養が現実に情報となって皆で共有することができるのに。一人の教養で収まるのは、もったいないことですね。
委員	皆さんに声かけないといけない。
委員	コミュニティの防災担当している人達はいます。その人達が発信をしてくれるのですか。
委員	市会議員でも民間の防災士資格者を持っている方がけっこういらっしゃいます。
委員	ただ、僕もコミュニティをやっていて一番の難題がそれです。自治会は会員に対しては徹底できます。ただ、42%です。あと残りをどうするかという問題です。だから、先ほど青パトの話がでましたが、去年日本財団から助成を受けて全国で初めてコミュニティで購入しました。小学校で全生徒を集めていただいて出発式をして、2時から4時の下校時間に通学路を主体に回っています。初めは30名ぐらいでスタートしましたが、今は50何名になってきて、土日でも回ろうという声が出てきました。そういうことをやっていかないと。
委員	情報共有が一番の力ですね。
委員	そうですね。
委員	じゃあ戻ると、55ページは「行政の防災力を高め、災害時に迅速に～」とありますが、そういうところで行政ができることは何ですか。
委員	災害時に動くということは、非常に難しいです。
委員	災害を起こさないように、起こす前に情報共有というのが、消費者問題も、昔はクリエイターとして勉強をして、その人達が地元に戻って口コミでという

	<p>形が 10 何年間続いていたのですが、それが止まってから事件が増えました。それと同じように、災害が起きた時も情報共有がもっとできていれば。民生も防災も色々な情報を市民に発信されていると思いますが、受けるチャンスが市民のほうになかなかないのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ここにある防災無線の問題でも全国的に流しますが、自治会にも全部流れています。ただ、マンション関係には何もいっていません。僕たちは今一生懸命マンションも取り込もうと思ってやっているのに、マンションの理事長にも流すように言っています。</p>
<p>委員</p>	<p>マンションは管理組合がなければいけませんから。</p>
<p>委員</p>	<p>リストは市ではなく消防本部が持っています。訓練等の問題があるから。その情報もなかなかもらえなかったのですが。</p>
<p>委員</p>	<p>それでもらえたのですか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうそう。それから全部回りました。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、55、56 ページに書いてある「現状と課題」は、実際に何か起きた時に行政がどう動くかが書かれていますが、それ以前に、地域との情報共有が重要とか、住民自体がその前の教養をもっと身につける必要があるということでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>大きなことにならないようにする。</p>
<p>委員</p>	<p>行政が個人情報云々ではなく、そういう内容のことを皆さんに分けるということができているのが一番良いと思います。ただ、それができない、してくれない。</p>
<p>委員</p>	<p>そこが課題ですね。</p>
	<p><b>◆ 27 番「生活安全の向上を図ります」について</b></p>
<p>委員</p>	<p>次にいってよろしいでしょうか。59 ページになります。27 番「生活安全の向上を図ります」まさに防犯の辺りです。消費トラブルの話も出てきています。この辺りで普段から思われることと、右側の「役割」で何か感じられることはありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>消費者が忙しすぎて、自分のことに関してだけ情報はスマホから取ります。昔なら新聞で見たい以外のところも見えたはずですが。その情報が抜けてい</p>

	<p>るばかりに足をすくわれるという状況が結構多く、若い方達の責任が重たいと言うか、ボランティアなり色々な人と関わって情報を得に行くことが重たくなっているのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>人との関わりがね。若い世代は敬遠される傾向が。</p>
<p>委員</p>	<p>でも、そのところで高齢者なり民生なり防災なり、それぞれを専門にされてこれまで培ってきたことでアドバイスができるのに、アドバイスしてもらえない状況に自分から持っていつているのではないかと。コインランドリーとか保育園とか、若いお母さんが仕方なくでも来ているようなところへ行ってお話しすると、すごく情報を欲しがっているけど誰からもらえば安心できるのか、年いつている人間達を警戒しているのが読み取れます。行政はそういう人達の見線までもう少し下がる何かないのか。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者の問題もあるけど、子どもの問題もある。特に子どものパトロールは、各地域で安全委員があります。朝に交通安全したりして、あれは非常に良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>たくさんのお見守りがあるという感じで。</p>
<p>委員</p>	<p>そういうことも安全に繋がっていると思います。ただし、ちょっとやりすぎもあります。信号を全部おじいちゃんおばあちゃんが押してしまう。それを子ども達にさせて欲しい。押して「はい、渡りなさい」ではなく、子どもに押させて子どものリーダーが「はい、渡るよ」と誘導して欲しい。いくら言っても、おじいちゃんおばあちゃんがしてくれる。</p>
<p>委員</p>	<p>私達がやっている料理講習会も、自分達で包丁を持って欲しいということがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>だからその間子ども達がふざけて、傘を振り回して横断歩道を渡っている。そうではなくて、リーダーが渡して欲しい。その辺りをきちんとしてくだされば、なお良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ、午後から帰る折のボランティアがないんです。朝は班長がいて連れて行っています。帰りがバラバラです。だからうちが青パトで2時から4時に回っているのは、車が入れないところもありますが、その時間に合わせています。会長から出ましたが、防犯カメラに3か月かかりました。学校に聞いても、先生が通学路を歩いたことがない。</p>
<p>委員</p>	<p>今、各地域で防犯カメラを付けているみたいですが。</p>

委員	<p>小学校区は 16 校区あり、そこに 10 台ずつついています。今、160 台市から設置されました。それはものすごく防犯上も有効です。</p>
委員	<p>ただ、大変でした。個人情報がありますから、家を映されては困るという方が圧倒的に多いです。</p>
委員	<p>だけど防犯カメラは管理がものすごくしっかりしていますので、誰でも見れません。</p>
委員	<p>いや、つける時です。</p>
委員	<p>何かあったとしても、誰が見ているのか。</p>
委員	<p>子どもは関係なく、大人が嫌がる。</p>
委員	<p>川西市と川西警察署がきちんと契約を結んでいて、防犯カメラを閲覧する時にはカッチリした規則にそって見えていますから、誰でも勝手には見れません。</p>
委員	<p>警察と市長が調印しています。</p>
委員	<p>そしたら、時間が経ってから見直すのですか。</p>
委員	<p>事件が起こらないと見ません。</p>
委員	<p>犯罪捜査も、何でもじゃないんです。重要な犯罪の時に防犯カメラを閲覧させて欲しいということで申請したら、管理者が見られるということです。誰でも勝手には見られません。</p>
委員	<p>私はけやき坂ですが、結構広いところです。校区でうちだけ子どもが 2 割増えたということで、校舎をまた建て増ししているぐらいです。小学校で約 690 人います。そういう学校は、けやき坂だけです。若い世代が家を建てて転居して来られた証です。防犯カメラは 10 台ついています、子どものためではなく、高齢化に傾きかけて徘徊者でこの 3 年間見つかっていない方が 1 人います。そういうことで、やっぱり防犯カメラをなければいけないということで、やっと 10 台ついたというのが現状です。あれは 10 台すべてが稼働しているのですか。</p>
委員	<p>稼働しています。</p>

委員	<p>防犯協会のけやき坂支部がありますが、結構皆さん活発ですが人口が増えているのでそれに追いつかない部分があります。</p>
委員	<p>もちろん私はコミュニティの人権委員もしていますので、皆と横の情報交換ができる機会には恵まれています。一度稼働していなかったことがあったので、ダミーの防犯カメラなら何の意味もないよね、ということがありました。10台とも今現在は全て稼働しているということですね。</p>
委員	<p>生活安全の向上というところになります。結局安全性を向上させるために監視の目を高める必要がある一方で、例えば先ほどの何から何までおじいちゃんおばあちゃんがやってしまうというところで、子どものことでも自分の身を自分で守ることと相反する部分がありますよね。その辺りの折り合いが大事なところになるかもしれないですね。</p>
委員	<p>昔は過保護な年寄りがたくさんいたと思いますが、でも反対にそれを諫めるお年寄りも結構いたと思います。今は諫めるお年寄りがいなくなって。</p>
委員	<p>その辺は市民力の向上でしょうか。バランス感覚の優れた。</p>
委員	<p>今、ご近所の防犯活動ということで見守り活動について言えば、子どもが集団登下校する時間帯に近所の方が犬の散歩をすとか、庭の手入れをすとか、そういう監視の目をたくさんつくろうと、市民運動としてされています。今は一人で帰る子どもが多いです。集団登下校と言っても、一人になる時があります。それが結構危ないです。その時によく被害にあわれたりします。それは誰が見るのか、結局近所の方の目しかないと思います。だから、ご近所の防犯活動、見守り活動がこれから大事になっていくと思います。</p>
委員	<p>機械だけでなく。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p><b>◆ 28 番「豊かな自然環境を次世代へ継承します」について</b></p> <p>では、次にいきます。61 ページになります。ここからは自然環境になります。あと、20 時までにはいくつ見るかと言うと、次が「快適な生活環境」、最後が「循環型社会の形成」とあります。</p> <p>61 ページから順番に。どうですか、クリーンセンターにいらっしやって。</p>
委員	<p>啓発の方々は自然を守るために色々と啓発活動をされていましたが、自分達がやっていたのは、ゴミを焼却して出た灰を溶融するという、省スペースで無害化させることをやっていました。自然環境にも関係はしていますが、そこま</p>

	では。
委員	循環のところに近いですか。
委員	そうですね。
委員	自然環境のところ、何か。
委員	うちの地域なら、谷の桜が有名です。あれは本当に見事です。ああいうのは広がれば良いと思いますけどね。市民病院のほうに行けば、お花畑ができています。あれも一つの方法かと思ったりもします。
委員	その継続が難しくないですか。
委員	継続が難しいです。
委員	一世代がそれに気付いてやっていくけど、次の世代がまたそれに加わる時に活動参加のしやすさなど。
委員	谷の桜の人達が、平均年齢が 72 歳です。30 人ぐらいいますが。だから、次の若い人達がどうやってそれを続けるか、問題になってきています。青年部ができたからそこへ入ってもらおうと。青年部が 10 何人できたので、その青年部を入れて今から考えてもらおうという運動をしています。
委員	考えているところなんですね。うまくいくと良いですね。
委員	うまくいくと良いと思っているのですが。
委員	そういうことがうまくいくコツみたいな。
委員	立派なお花や木だと皆の手でとなるけど、皆の手でいかない農家さんの緑地帯は生産緑地で、生産してもらえないといけない。緑はすごくたっぷりで憩いの場所だけど、それが一瞬にして住宅に変わってしまうというのが、ものすごく今南部では多いです。緑があることによって自然環境が残るといことがいっぱいあるけど。
委員	だけど、南部と北部では全然環境が違うでしょ。うちは今、高齢化率が 52% です。自治会そのものが大きいのは非常に有難いけど、次の後継者につなぐことが難しい。南部はまだ若い人がたくさんいる。



委員	でもやっぱり、はたから手を出せない個人の持ち物だから。農家を続けたいけれど、親父が死んでそんなことやってられないという方が多い。そういうのを役所はどう見ているのか。
委員	空き家問題ですね。
委員	空き家問題と両方ですね。今私達が若い方から相談をよくお聞きするのが、自分達で有機栽培をしたいという方が結構あります。そういうものとマッチングができないものでしょうか。
委員	マッチングよりも田んぼがなくなってしまうということは、本人は親が亡くなってもやる気はあるけれど、でも税金があるから。
委員	桜の話が出ましたが、川西市は結構桜がきれいです。だけど桜も年いくと枯れます。ものすごく根っこが寂しくなっています。樹木医がいて、元の桜に生き返らせるようなことができます。個人ができませんから、市の行政として樹木医の活用を積極的にしていかないと、きれいな川西の桜がだんだんなくなってしまうので。これから若い人に引き継いでいくためには必要なことです。
委員	若い人達にこの川西に来て、残ってと言うには、何をアピールするかということですね。
委員	学校の遠足や校外学習で桜を見にいこうみたいなのは。
委員	ありますよ。1年生から4年生まで順番に来ています。
委員	高校はどうですか。
委員	高校生は来ない。今のところ小学生だけです。
委員	高校生ぐらいになると、例えば環境について将来学んで地域で活動とか。
委員	高校1年生ぐらいじゃないですか。2年生3年生になると、大学のほうに。
委員	小学生が行っても、まだ先が長いじゃないですか。
委員	ただ小学生は、先生が野外活動として出しますから強制的です。本人の希望じゃないです。今度高校になるとそういうことはできないです。
委員	トライアルウィークで中学生は行っています。

委員	そういう機会を見て、体感してもらうチャンスは若い世代に要りますよね。
委員	考えたら子どもにしても若い人にしても、忙しい。
委員	まずPTAがそうです。80%がパートに出ています。
委員	それは市がどうのではなく、平成になった時から夫の給料が上がらなかったということがあるので、どうしても妻が。例え5万円でも、0か5万円かと言うと5万円。だから、働いている人が多いです。
委員	男女共同参画センターとしては、女性の就労は支援したいところですが。
委員	だから原因を、うちのコミュニティでもものすごく検討しました。僕達が働いていた時は家内を家に置いていました。ただし、塾というのがなかったんです。今は皆行っています。
委員	学校制度も中3から変わりますから。日本の大学はこれから欧米式になって、入るのは入れるけど卒業できないと変えていく骨子ができています。勉強がしたい者は大学にはいくらでも行くことができ、教育制度を高めることは大分変わりつつあると思います。
委員	ということは「自然環境を次世代へ継承」ということですが、教育の問題も含み、女性の就労問題も含みなど。
委員	おっしゃる通りです。男女協働参画と言いまして、女性の方が求められています。川西防犯協会のボランティア活動も女性が少ないです。安全安心まちづくりのためのボランティア活動もほとんど男性ばかりです。女性が被害にあわれることが多いです。振り込め詐欺もそうですし、わいせつ事案もそうですが、被害者は弱い立場の方が多く、子ども、女性、高齢者がほとんどです。だから女性が川西防犯協会のボランティア活動で防犯意識を高めていただければ、もっともって川西市も安全安心の住みよいまちになっていくと思います。
委員	ということは、長時間労働みたいなものも絡んできていて、この「自然環境の次世代継承」というのは、難しい。
委員	<p>◆ 29番「快適な生活環境を守ります」について</p> <p>では、次の65ページの29番「快適な生活環境を守ります」というのも、似通った話もあるかもしれません。その辺りはどうですか。</p>

委員	<p>65 ページの課題のところで「新名神高速道路の開通に伴い、環境の変化の有無確認をする必要があります。」というのは、どうやってされるのか。測ってその数字だけで終わるのか、周りの畑に関係が出てくるのか。有無確認はどんなふうにするのか。</p>
委員	<p>新名神ができると、大分動線が変わってしまいます。うちは今、市民病院に行く道ではなくてグリーンハイツから出たところのすぐ右の道路がすごく広くなったので、あの道から上がってきます。今それだけでも変わったから、新名神ができればもっと変わります。</p>
委員	<p>交通量が変わるということは、排気ガスの量にもすぐに反映してきますよね。</p>
委員	<p>だから皆、市民病院の前は通ってこない。</p>
委員	<p>確かに通りやすいですね。便利さの反面、環境的には。</p>
委員	<p>インターの北側はほとんど猪名川です。だから、物流センターができていくのは全部猪名川町で川西はないです。</p>
委員	<p>排気ガスの量が増えたとしたら、生活環境としては悪くなるわけだから、それはどうやって改善するのですか。</p>
委員	<p>それはそれで問題になっています。</p>
委員	<p>私も自分に直接関わりがなかったから分からなかったのですが、これを読んでどうするんだろうと。変化が起きたとして、それに対して誰が見てくれるのか、どう改善してくれるのか、誰がしてくれるのか。</p>
委員	<p>◆ 30 番「循環型社会の形成を促進します」について その辺り、次の 69 ページが「循環型社会」です。</p>
委員	<p>簡単そうで大きな問題をはらんでいますよね。</p>
委員	<p>さっきおっしゃっていたゴミのリサイクルじゃないけど、それを循環させていく話ですが。</p>
委員	<p>クリーンセンターは、大きく分けて 3 部署あります。リサイクルと焼却と溶融です。自分達のところで若干関係しているのが、廃棄物の質ですかね。基本、川西市はそこまで他市に比べて分別は多くないです。何でもだいたい燃やせると言うか、溶かせるような感じにしているの。不燃物以外はできるようにな</p>

	<p>っています。かつ、排ガス規制もすごく厳しいです。他市に比べて CO は 100 倍くらい国の基準よりも下のほうにしています。常に組合、市民の方々にモニタリングできる環境が取られています。センターがあることによって環境がどうなるということは、多分ないと思います。一市民から見た感じでは、ゴミの出し方ですかね。自分は詳しく知らないのですが、ゴミステーションは各自治体で管理されているのですか。</p>
<p>委員</p>	<p>基本的には自治会です。自治会に入っていない方もいますが、ゴミをほかすなどということはできませんので、自治会の管理するゴミ捨て場に捨てていただいています。ただ、ゴミ当番はしてもらっています。</p>
<p>委員</p>	<p>会員になっていない方は、自分はここに出すからという形で。</p>
<p>委員</p>	<p>ゴミステーションとはまた違うところに置かれている方で、昔から多分使われているんでしょうね。</p>
<p>委員</p>	<p>市の方が大変だと思います。収集する場所が多くなって。</p>
<p>委員</p>	<p>本当に何周も何周もされています。</p>
<p>委員</p>	<p>止まっていたら交通渋滞にもなりますし。隣の池田は、家庭ごとに出しています。マンションは一括で出しますが、個人の家はずっと家の前に出しています。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ、向こうはゴミ袋を売っていますから。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市は珍しく。ちょっとずつそっちの方向になりつつありますけど、まだゴミ袋を買う段階ではなくて、今一番多分皆さんのご家庭で影響が出ているのは粗大ごみの有料化だと思います。その時はすごかったです。ここで話して良いのかどうか分かりませんが、センター内で処理できないぐらいの量が一気に出てしまったので。かつ、分別もしないといけないので、それによって時間がかかったのを覚えています。半年以上かかりました。何のゴミが多かったかと言うと、オフィスのゴミです。多分、川西市以外から持ち寄ってきていたと思います。池田や宝塚からもきていたと思います。川西市から出るレベルではなかったの。そういうのも、今までの問題が見えるようになったのかなという実感がありました。</p>
<p>委員</p>	<p>池田市ではゴミを一軒一軒出しているという、それは希望ですね。うちの住宅でも、何をボランティアにお願いしたいかと言うと、週 2 回の生ゴミを出して欲しいということです。ゴミステーションまで遠いんです。ボランティアの</p>

	方が車を出して回収してゴミステーションに行くより、お隣が面倒をみてあげるとい、向こう三軒両隣の繋がりが欲しいということで、今のところはお協力いただけるように。
委員	それは、お年寄りが言っているのですか。
委員	そうですね。包括センターに訪問してもらって、在宅介護が進んできています。
委員	うちは自治会でそういう家庭は集めています。月 1,500 円で週 1 回土曜日に。
委員	無料は気をつかうから嫌だということです。
委員	だから、有料にしています。
委員	お金を払っても良いから労力を助けて欲しいという願いですよ。ゴミステーションまで、皆遠いんです。
委員	生ゴミだけでなく、プラスチックから缶から全部です。
委員	プラとか缶は 1 回ぐらい遅れてもまだ自宅の庭で管理できます。だけど、生ゴミは夏場になるとどうしても週 2 回必ず回収して欲しいという願いがあるから。1,000 円出してでも家の前に来て欲しいという願いですね。
委員	うちは大きな箱を与えて、玄関の好きなところに置いてもらっています。
委員	こちらのよう自治会にお金を払ってというのは、私達のところではないです。
委員	これだけの自治会があるのに、統一はできないです。
委員	統一ではなくて、ゴミを持っていくことがとても大変になっている、お年寄りが出しに行けなくなっているということが問題なんです。
委員	一番良いのは、美化推進で出前講座をやっていますので、自治会ごとに呼べば良いと思います。それで言いたいことを言えば良いと思います。
委員	年っている人と介護している人とそれぞれが違うから、その人達にとって出しやすい制度を作ってあげることのほうが。

委員	それは市でもやっています。介護 2 以上の人は玄関に置いてもいいです。それはお金は要りません。
委員	要支援 1 でも酸素ボンベを背負っている人ならともしんどいだろうと思うし、普通のお年寄りでも要支援や要介護をもらわない人もいるだろうから。ゴミを収集してもらいやすい環境にもっていくことが大切だと思います。自治会があつてきちんとやっているところと、自治会に関わっていない人はどうしてもしてもらえないし。
委員	働いている女性が、ゴミ当番が回ってくると憂鬱だという話も結構あります。
委員	大雨が降っても、ゴミステーションに傘をさしながらネットをたたんで、かけるということを輪番でやっているのですが、ああいうのがなくなると負担が少しは軽減される。それは安らぐに繋がると思います。
委員	環境推進協議会があり、各コミュニティから議事が全部きています。私も有料化の折に審議委員会をやっていたので、大変でした。やっぱりゴミ袋の有料化はだめでした。と言うのは、議会にのせないといけないわけです。果たして議会が賛成するかどうか。今は半透明でないと持って行ってくれないから。
委員	あれはそんな大きなトラブルはなかったんですか。
委員	なかったですね。あれで落ち着いたんです。僕達が一番討議したのが、隣の池田は有料化しているじゃないかということです。有料化で池田は個別で回っているじゃないかと。有料化すると、それだけ経費が市へ入るわけです。
委員	本当に無視できない問題がたくさん入ってきます。ゴミの問題では。
委員	環境の巡回車が事故を起こすんです。
委員	マナーも守って欲しいし、分別もきちんとやって欲しいと思うけど、する側になるとしんどいと思うし。
委員	出すルールを意識向上も必要だし、高齢化や働く人が増えてきた時にゴミの出し方の問題は、もっと深刻になるでしょうね。
委員	高齢化がどんどん進むと、取りに来てくれる若い子達も少なくなってくるだろうし。
委員	川西市の全部の小学校が黒川へ見学に入りました。子どもだけ行かないで親

	<p>もついていけと学校に言いましたが、経費の問題だと言われました。僕も6回ぐらい行きましたが、あの中を見ると帰って来て子どもが皆言っています。ペットボトルがきれいになっているかと言うと、そうではない。そういうものを直接見ている。</p>
委員	<p>リサイクルはリサイクルで人を雇って、分別、洗浄をやってリサイクルに出せる形にして、外部に出します。それに多分お金はかなりかかっています。それに関しては、市民の皆さまの意識の向上を願うぐらいしかないというのと、啓発していくぐらいしか多分ないと思います。リサイクル問題は、全国どこでも難しいと思います。</p>
委員	<p>コミュニティの名前は出ませんが、毎年バス2台ぐらいで見学に行っているところがあります。</p>
委員	<p>結構いつも見学者は来られます。多いです。</p>
委員	<p>大型バスで入られます。午前中と午後と。</p>
委員	<p>あそこは交通の便がないです。シャトルバスも電車も通ってないですから。</p>
委員	<p>ゆめほたるさんが色々とされていますが、そういう啓発の効果は少しずつは出るものですか。</p>
委員	<p>先ほどのテーマに戻りますが、自然環境に触れあうこともできますし、特に南部はそういうところが少ないので。そういうところから行かれた方は、「良かった」という感想があります。</p>
委員	<p>4月と5月の見学は学校が来るから大丈夫です。</p>
委員	<p>一般見学も普通に行って良いのですか。</p>
委員	<p>来られます。あと、グラウンドもあるのでスポーツやバザーをよくやっています。</p>
委員	<p>ただ問題は、グループで入らないと説明についてくれないので。一人で見て回っていても、なかなか。</p>
委員	<p>表示板やボタンを押して音声が出るものはありますが、そんなに詳しくは説明してくれないです。</p>

委員	年に何回か個人で参加してもそういう説明会があるような、何とか教室みたいなものはないのですか。
委員	催し物がある時にそういうお話しを多分されると思います。
委員	催し物の時に啓発活動も一緒にされているということですか。
委員	うちは毎年申し込んで行っていますが、見学が終わると美化推進委員からきています。
委員	あと、ご近所の若い奥様が結構集まって、そこで子どもが遊ぶ場所があるんです。そこで遊ばせておいて、奥様どうして話をしたりということもあるので。先ほどの話に繋がるところがあるかもしれませんが、もしかしたらそうしたところで触れあいの機会もあるのかなと。人が集まる場所という意味では、結構機能しているのかなと思います。
委員	せっかく毎月機関紙を出してくれているし。
委員	1回は行ったけど、毎年そういうところに見学に行かれているんですね。各コミュニティで。そういう情報は、コミュニティの運営委員会でも全然流れない。
委員	防災も防犯も環境も啓発が大事だけど、毎年行っても毎年違った面白みがあれば。
委員	この役につけば、楽しいことがあるという感じに変わっていったら、広がってくれるんですけどね。
委員	若い人達の関心の度合いが高まっていきますよね。 ご協力ありがとうございました。では、何か言い残したこととかないですか。よろしいですか。
委員	<p>◆ 2班の議論の総括</p> <p>2班に与えられたテーマは「安全安心」ですね。「備える」と「守る」ということですね。「備える」については、25番「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」という施策です。いわゆる少子高齢化問題がここでも大きくクローズアップされております。災害時にどうやって情報を共有して、例えば災害時の避難勧告、指示が全員に徹底できるかということで、色々議論していただきました。それから、この中で特に見守り活動が重要になってくるということですが、それも最近結構難しくなっておりまして、個人情報保護法の絡み</p>



もあり、高齢者の自宅訪問もなかなかできにくいということですが、これについてコミュニティ、民生委員、自治会、市が連携をしながら情報を共有し、積極的にやっていく必要があるということです。それと子どもの見守り活動も似たところがあり、防犯カメラがたくさん設置されていますが、それだけではなく監視の目がいかにたくさん必要かということで、ご近所の防犯活動、見守り活動も重要になってくるんじゃないかと思っております。皆さんの意見にありましたように、子どもさんが帰る時は一人になる時が多いです。集団登下校ですが、もれる人がいます。その人をどうやって見守り活動をして重大な事件事故から守っていくのかとなると、やっぱりご近所の防犯活動が重要になってくると思っております。それと、防災についても色々お話しができました。防災訓練も自治会、コミュニティ、企業などで色々されていますが、それもバラバラでするのでなく連携を取りながらやっていったほうが、災害発生時に助け合うことが重要ですので、これも今後の課題になると思っております。

あとは環境問題です。皆さんゴミの問題で困っておられると思います。高齢者や要介護者の方がゴミを出しにくいので、有料化しても良いから家の前にゴミを出すシステムができないか、皆さんそう思ってるんじゃないかと思っております。今後の課題として、市の行政でそれができるのか今後審議会で議論していきたいと思っております。ただ、ゴミの問題は小さな問題ですが重要です。生ゴミは衛生にも関わります。今後審議会で皆さんと一緒に前向きに考えていければと思います。

最後に、防犯防災環境ですね。今川西市は非常に住みやすいまちになっております。これを継続していくには、住みやすいまちづくりのための啓発活動が重要です。今後もコミュニティ、自治会、各種団体、各企業などが連携しながら考えていく必要があると思っております。

委員

追加することとかないですか。

委員

まだもう少し掘り下げないといけないことは、たくさんあります。防災の関係でも。いわゆる伝達関係を完全にするにはどうすれば良いかとか。

委員

ありがとうございました。

### ●全体共有

会長

それでは、そろそろ今日のご議論の共有をしたいと思います。何もかもきれいに議論が終わってなくても、それぞれ残したところはまた次回で結構です。今日のところでここまで議論ができたということ、最後に共有できればと思います。今日で議論が終わりではなく、また次回も次々回もたくさんあります。今日のところはとりあえず、各班でどういってお話しがあったのか、お互いに情報共有したいと思っております。

お話しする方が既に決まっていれば、お願いしたいと思います。それでは、

	<p>1 班からよろしくお願いします。</p> <p><b>●1 班発表</b></p> <p>範囲については「住む」という分野から、施策番号 1 番 4 番 6 番 7 番 9 番 10 番と、公園や市街地、キセラ川西、公営住宅、ふるさと団地といった、公園や住まいを中心に検討しました。多くのところでキーワードとして出されていたのは、人口減少という全体的な事象の中で、開発ないしは開発制御の仕方をどうするのか、というところでした。</p> <p>駅周辺の開発等については、単に宅地化するか規制するかということではなく、もう少し総合的なまちづくりという視点が必要なのではないかと。キセラについては、コンセプト自体何を大事にしているかということも含めた、多くの市民との共有が進められていくことが必要ではないかと。ふるさと団地等では、環境が良いという利点や、今だと若い世代を呼び込みましようということになっていますが、それだけではない多様な建物の使われ方をもう少し検討してはどうか、という話がありました。</p> <p>それから公園の利用については、特に満足度の低さが印象的だと出ていました。今 13%なんですね。ただそれは、世代的な公園の使い方の違いがそのままになって、遊具のあるポケット公園、要するに子ども連れは使うけど、子育てが終わると距離の遠い存在になっているのではないかと。そうした中で、世代をまたいだ公園の使い方の多様化や、そこでの管理のあり方について、もう少し大きな枠組みで議論をする場面がそろそろ必要なのではないかと、ということがありました。</p> <p>最後に全体的なところで「良好な都市環境を整備します」について議論したのですが、そこでも人口減少という全体的な事象と、一方で宅地開発規制等は元々の人口流入が激しかった時にどうやって制約するかというコンセプトでできている、そうしたところをどう整合させていくのか。今の見込みの中で、どういう都市環境を整備していくのかということころは、もう少しきちんと確認したい、実はそこはずれているのではないかと問題提起がありました。</p> <p>以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、2 班はどうですか。</p>
<p>委員</p>	<p><b>●2 班発表</b></p> <p>私たちに与えられたテーマは、「安全安心」です。4 番目の「備える」ですね。25 番「地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」、26 番「行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します」、27 番「生活安全の向上を図ります」、それと 5 番目の「守る」というテーマの 28 番「豊かな自然環境を次世代へ継承します」、29 番「快適な生活環境を守ります」、30 番「循環型社会の形成を促進します」について、積極的に議論しました。</p>

この中で特に意見が多かったのは、防災の関係で高齢者の方をどうしたら助けられるのかということです。今は個人で申請をしていただいております、これに対して市や民生委員、自治会、コミュニティ、各関係団体などが災害時に連携して守っていくということで、意見の一致をみております。

それと、地域によって温度差がありますが、危機管理も市の担当課が縦割りでバラバラになっているのではないかと、という意見もありました。これについては、また今後も議論を進めていかなければならないと思っております。

それと、個人情報との関係はここでもやっぱり問題になりました。特に高齢者個人に災害発生時の支援要請の申請をしてもらいその方を助けるには、それ以前の問題として民生委員が行ってもなかなか戸を開けてくれないとか、個人情報の漏えいがあるのではないかとということもありましたが、やっぱり高齢者の命を守るということについては、個人情報が優先されるのか、それとも人の命を守ることを優先するのは大事なことです、議論していただきました。どちらが優先という結論は出ていませんが、今後もまず人の命を守るためにはどうすれば良いかを審議会でも議論を進めていきたいと思っております。

それと自治会についても、情報共有がなかなかできにくいということでした。ここで議論になったのは、情報共有です。皆が災害時の情報を共有していかなければならないとなれば、どうすれば良いのかを、色々議論しました。特にマンションの対策です。自治会に入っていないところもありますし、そういう方も災害時は放っておくわけにはいきません。全員に情報が共有できるようにしなければいけないということで、議論しました。

それと子どもの見守り活動ですが、集団登下校の時は良いのですが、それからみ出た子どもさんをどうやって重大な事故や事件等から防いでいけるかが、本当に大事なことです。そこから漏れた子どもが殺されたりしています。それを皆で議論したところ、やはりご近所の見守り活動、登下校の時間帯にご近所の方が犬の散歩をすとか、庭の手入れをすとか、そういうご近所防犯活動を各自治会なりコミュニティで宣伝していただき、監視の目をいたるところに作っていくことが一番大事ではないかということになりました。もちろん防犯カメラもあります。今は各小学校区に160台ほど設置されていますが、万能ではないです。やはり防犯活動とか監視の目が大事ではないか、という結論に達しました。

それと環境整備の関係ですが、どうすれば緑のある川西市にできるかということで、もちろん一人ひとりが気をつけていかなければならないのですが、川西市は桜がすごくきれいです。それを次世代に引き継いでいくには、色々と考えて施策をしないと残っていかないと思います。樹木医の活用を、市や我々が考えていく必要があるのではないかと思っております。きれいな桜をいつまでも残すために。

それと、今年の秋に新名神高速道路川西インターチェンジが開通します。それに伴う環境の変化をどうするのか。例えば、猪名川町に日本一の物流センターができます。そしたら猪名川町にばかり良いところを持っていかれて、川西

市は車の排気ガスばかり残るとなると、環境的にはあまり良いことではないと思います。それもこれから活発に議論していきたいという皆さんのご意見でした。

それと、ゴミの問題は切実です。例えば生ゴミをためていては、衛生上も悪いです。ゴミを有料でも良いから個別に収集してもらえないか、という意見がありました。それも今後の課題にしていきたいと思っております。と言いますのは、高齢者や要介護者の方でゴミ出しができない方がいらっしゃると思います。有料にして生ゴミを個人の家まで取りにきていただくわけにはいかないのか、という話も出ました。それも今後議論が必要だと思っております。

最後になりますが、安全安心のまちづくりのためには、市や各コミュニティ、自治会、各種団体、企業などが連携しないと情報の共有化はできないと思います。連携して防犯・防災・良好な環境づくりの啓発活動を進めていきたいという結論に達しました。

ありがとうございました。

2つの班で熱心にご議論いただきました。中身をどうこうということはありませんが、どちらのグループでも共通にあがっていたのは、地域の市民の皆さん方の力、特に防災防犯のお話をいただいたところで、コミュニティや自治会、また各種地域団体の力が大きいですし、それから「暮らし」の「住む」というところで都市の環境、或いは都市施設、或いはまちのにぎわいを議論していただいたところでは、そこに市民がどう関わってくるか。しかもそれは、私的に或いはマーケット的に関わるというよりは、公共的な意味合いを持った空間に市民が公共的にどう関わっていくかというところの市民の力がどちらも強調されていたと思います。こういう視点は、これからの後期計画の中で大事だと改めて感じさせられました。

「住む」については、せっかくの川西市のすぐれた資産が、必ずしも明確な方向付けをもって考えられていないということ、そこをもう一度きちんと議論していこうということだったと思います。様々な貴重な都市の施設や都市の資産があるのですが、本当に活用されていないのではないか、或いはそれをどう使うのかという方向が見えていないのではないか、というご議論があったと思います。実はその点は、防災や住環境、また、防犯の問題についても、お一人お一人の暮らしを大切にしてそこから身の回りの環境、日々の暮らしをきちんと考えていくという時に、一体何がそこで必要とされているのか、必ずしも優先順位が付けられていない。本当に大切な地域の緑が意外にないがしろにされている、高齢化が進む中で本当に必要とされているような都市美化やゴミ処理ができていないかもしれない、という問題提起もいただきました。この辺りはもう一度次回も次々回も含めて、今後の川西市の理想的なまちづくりに向けての原点に立ち戻った議論を、各施策の項目でまた展開して深めていただければと思います。全体に共通した重要な論点を、両方のグループでいただいたと思います。こういうところを大切にしながら、1つ1つの施策分野をしっかりと議

会長

	<p>論していければと思っております。</p> <p>今日は2つの班から熱心にご議論いただきました。やっぱり時間が足りませんね。もう少しきちんと時間コントロールと全体の進め方のスケジュールも含めて、事務局と打ち合わせをして、改めて皆さんにお諮りしたいと思います。</p> <p>今日は本当にありがとうございました。両班から特にここが違う等何かありましたら、最後に聞いておきたいと思います。よろしいですか。</p>
委員	<p>21番22番等、高齢の方に対する施策は「住む」「にぎわう」とも関わりのある部分で、こちらの班でご意見がある方もあるようです。そうした意見のやりとりがどこかでできるような、少なくともお互いに意見があれば出し合う、コメントしあうことができる前提を確認しておきたいと思います。</p>
会長	<p>是非そういうところはしっかりとやりとりをしながら、もちろんこういう形での情報共有もありますが、論点によっては全体の議論をするような場も作れればと思っております。今後、それぞれの進行役をお願いしている先生方と私、事務局とも検討させていただければと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、今日のところは以上をもちまして終了させていただきます。長い時間熱心にご議論いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p><b>(2) その他（次回の日程・内容確認など）</b></p> <p>長時間にわたり、お疲れさまでした。時間制限がなければまだまだ終わらないくらい皆さん活発にご議論をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>次回以降の日程について、ご連絡いたします。次回第3回は7月13日木曜日、今回と同じ会場で開催いたします。第4回につきましては、今のところの予定では8月29日火曜日に開催いたします。第4回の場所や第5回以降の詳細については、また改めてご連絡いたします。時間は本日と同じく18時30分から予定しております。皆さまご多忙と存じますが、ご出席のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了といたします。本当に長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p><b>3 閉会</b></p>